

授業科目名	なぎなた		授業形態	実技		授業科目区分	専門科目 (関連実技科目)		
担当教員名	平山 悦子					補助担当者名	下川 美佳		
単位数	1 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数	30名程度		
授業の概要	日本の伝統文化としての特性を理解させ、正しい基本動作や応用技能を習得させる。 ・バランスのとれた体とよい姿勢をつくる。 ・旺盛な気力と活力が養われる。 ・礼儀を重んじ相手を尊ぶ心が養われる。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標		成績評価の方法				定期 試験	その他	割合 %
			授業期間						
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	・なぎなたにふれ歴史、特徴、練習方法を知る。 ・伝統的な考え方と行動の仕方を知る。	○		○				20
	■情意的領域	・礼儀作法を学び相手を尊重し技を教え合い互いに協力する。 ・健康・安全に気を配ることができるようにする。	○		○				30
■技能的領域	・基本動作を正しく学び、気剣体一致の技を身につける。	○		○		○		50	
成績評価の基準	実技試験、授業態度など総合で評価する。								
テキスト、教材 参 考 書	楽しいなぎなたの授業（財）全日本なぎなた連盟								
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッ セージ含む)		手ぬぐい（日本タオル）を準備すること				
オフィス・アワー	授業実施日の授業前後の時間帯（武道館）								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	平山 悦子	オリエンテーション（特性・歴史・計画）礼法と用具の扱い方							
2	〃	1. 基本動作Ⅰ (1) 各種構えの説明 (2) なぎなたの振り方、足さばき				1～8回目までの内容を振り返りレポートをまとめ、提出する。			
3	〃	2. 基本動作Ⅱ (1) 打突部位、操作法 (2) 打突法 (3) 受け方				〃			
4	〃	3. 基本打突と応用技能 (1) 打ち返し (2) しかけ技 (3) 応じ方 (4) しかけ応じ技（1～5本目）				〃			
5	〃	〃				〃			
6	〃	〃				〃			
7	〃	〃				〃			
8	〃	〃							
9	〃	4. 防具をつけての打突法と稽古 (1) 防具のつけ方 (2) 防具をつけての打突法 (3) 稽古				9～14回目までの内容を振り返りレポートをまとめ、提出する。			
10	〃	〃				〃			
11	〃	〃				〃			
12	〃	5. 試合と審判 (1) なぎなたの審判について (2) 演技競技 (3) 試合競技				〃			
13	〃	〃				〃			
14	〃	〃				〃			
15	〃	6. 全日本の形							
16	〃	学期末試験（実技による評価）							